

## 一年間の非対面留学

釜山外国語大学

ジョン・ミラン

私は韓国から交換留学生として来たジョン・ミランと申します。私は2021年の4月からお茶大の授業を受けるようになりました。しかし、新型コロナウイルスの影響で、ビザが取れない状況が今までずっと続き、非対面で1年間の留学を終えるようになりました。これから、その1年間の非対面留学の経験についてお話したいと思います。

お茶大では、コロナの影響でほとんどの授業が「ZOOM」という会議プログラムを使った非対面授業で行われました。そのため、韓国にいても問題なく授業に参加することができました。私はお茶大の授業の中でも、留学生を対象とした授業を中心に受けました。留学生授業は15人を過ぎない少人数で行われることが多く、ZOOMのブレイクアウトルームを使った留学生たちとのディスカッションを通して、様々な視点の意見を交わすことができました。留学生授業の中では、日本語事情演習5Aや日本語演習4Bのように、お茶大の学部生と一緒に行う授業もあります。その授業では、日本人の学生とグループを組んで課題を行ったり意見を交わしたりするので、日本人学生と協力しながら課題を遂行する方法を身につけられました。

しかし、非対面の授業だからか、課題の量が私には多いと感じられました。その中には、留学生とのチームワークの課題もあり、時差とかネットの調子のような問題で、連絡を取ることもさへ簡単ではありませんでした。それから、友達を作ることが難しいと感じました。授業で同じグループにならない限り、プライベートに連絡することもなく、LINEを交換するようになって、非対面で親睦を深めることは難しいので、このようなところが非対面留学の最も大きな短所だったと感じています。

日本に行けなくなったことはとても残念ですが、それでも、お茶大で経験した一年は、私にとってこれから二度と経験できないようなとても貴重な時間でした。私がこうやって無事に留学生活を終えることができたのは、留学生を支えてくれた国際課のみなさんや萩原先生、松田先生、そして担当教官の森山先生を含めたお茶大のみなさんが手伝ってくれたおかげです。みなさん、一年の間本当にありがとうございます。

ざいました。以上で、留学体験作文を終わらせたいと思います。

発表で使ったPPT



お茶小に送った動画



インタビュー記事

日本語演習ⅢB

インタビュー集

2021後期

Interviewer ジョン・ミラン

**教授にインタビュー**

釜山外国語大学 日本語創意思融合学部

**澤井亮佑 教授**

――まず、自己紹介をお願いします。

澤井(1978年3月5日生)です。韓国にきて、今年(2021)20年目になりました。教師も同じ20年です。大学時代は、今の職業とまったく違う分野の日本民俗学というものを勉強していた。文化財とかお祭りとかそういう文化人類の手法についての勉強をしていました。大学を卒業した後は、韓国にきて日本語の先生という職業を選んで大学院に入り、博士を修了してから大学の先生に転職しました。

――韓国に来たばかりの時は韓国語で講義をされていたと思いますが、日本と韓国の差に何か違いを感じましたか？

韓国、日本の差のことを考えると、韓国は韓国には、毎日授業があるとは違っていませんでした。教員も、決まった時間には授業があつて、一時間ごとにクラスが終わるんですけど、その時間外のことまでたくさん日本と同じと思っていましたが、違います。今の差から、9時から授業があります。と聞いて、アホな人だと思ってオーケーって思ったんですけど、その後、朝の8時が来てびっくりしました。授業や学校に行く前に勉強をしていく学生さんがいることに真面目なところと韓国から勉強大変なところを感じました。

――そうなんです。大学で勤めながら感じた大学と韓国の違いには何がありましたか？

韓の方では学生の成績と関係なく和訳課題とでたもので、20年経った今でも付き合いは多いんですけど、大学の場合は、どうしても成績を付けなきゃいけないというシビアな面がありますから、大学在学中は韓の方でも大学を卒業すると成績がなくなる学生さんがいますので、それがちょっと驚いてますね。

それから、韓国の先生あしはは関係なく、大学ではできないことをより詳しくと成績を付けることができませんので、これはちょっと難しい面でもありますね。

Q. ロケ。(大学と教員) 教員にどんな違いがありましたか？

今の大学では、私が今まで経験したような民俗学とか文化財とかそういうことを教える機会がありません。教員はとてみず日本語をしっかりと教えるというイメージがありましたら、あんまり自由がなくて、教科書にあることを教えることに集中してました。

お茶の水女子大学  
Ochanomizu University